

衛藤正宏  
えとうまさひろ



▲道幅が狭い市道牛首線（大野町・大原工区）

現時点では市内には、31箇所もの申し込みがあり、早急に事業促進を図る必要があるが。

**答弁 建設部長**

今後の改良計画は、どのようになっているのか。

**答弁 建設部長**

両家工区1.3kmは、総事業費4億6500万円で事業着手をし、平成17年度には測量設計を終え、平成18年度に用地補償と終点側120mの改良を実施したところです。

まちづくりに、協働・共創、自己決定・自己責任を提倡しているが、取り組みは十分か。

**答弁 市長**

市民と行政との信頼関係が肝要であることから、情報開示や市民の意向把握に努め、その理念に沿って対応していきたい。

市民の意見を拝聴しながら、合意形成を図っています。

地域の実態把握が重要な第一歩であり、調査自体がサービスに繋がる。

**答弁 産業経済部長**

財政危機の多くは住民へのツケとなつていて、暮らしにより身近な課題への取り組みについて伺う。

種目競技の強化策とスポーツの普及・振興を図る必

**答弁 教育長**

具体的な強化策が示されないが。

**答弁 国体委員会**

国体を契機にトップレベルのチーム・選手の招へい、合宿の誘致、スポーツ顕彰制度の確立など中・長期的視点での指導者の育成、競技人口の拡大・強化を図りたい。

## 急傾斜地の崩壊対策を



期の工事着手を待つ住家が多くあります。今後とも、制度の拡充や事業採択に向け、市長を先頭に県や国などの関係機関に積極的に働きかけるとともに、割り当てがあれば、必ず予算措置していくきたいと考えています。

ルートの変更も視野に入れ、両家工区の進捗を見ながら事業着手をしていきたないと考えているところです。

清田満作  
きよたまんさく

## 市道牛首線の改良は

現時点では市内には、31箇所もの申し込みがあり、早急に事業促進を図る必要があるが。

**答弁 建設部長**

今後の改良計画は、どのようになっているのか。

**答弁 建設部長**

両家工区1.3kmは、総事業費4億6500万円で事業着手をし、平成17年度には測量設計を終え、平成18年度に用地補償と終点側120mの改良を実施したところです。

## 施策推進の啓発を



## 住民への行政サービスは

## 大分国体の取り組みは



▲国体出場めざして頑張ります（リバーパーク犬飼）